

ベルギーの写真家、糸島の春を撮る

芸術家に一定期間、滞在して作品を制作・発表してもらう「アーティスト・イン・レジデンス」。そのプログラムに取り組む糸島市二丈松末のアートカンパニー「Studio Kura」で5月3～6日、ベルギー出身の写真家フランス・デュボアさんの個展が開かれる。

デュボアさんはベルギーを拠点に活動し、5年ほど前からフランスや英国、米国などで作品を発表。日本でも昨年、山口県の秋吉台国際芸術村のレジデンスプログラムに招聘されて制作した。糸島は日本では2度目の滞在制作で、3月中旬から半島の各地に足を伸ば

し、自然や地域の人々の表情などを撮影した。

個展のタイトルは「NO CONCEPT」で、写真約60点を展示。デュボアさんは「桜や野菜畑など、風景が毎週変わる春の糸島を訪れることが出来てよかつた。概念に縛られず、自由な発想で撮った写真を見てほしい」と話す。

「Studio Kura」は、地域の人たちに異文化に触れてもらおうと、民家の米蔵をアーティストの制作と見学のために開放しているオープンスタジオ。松崎宏史代表によると、これまでに18カ国の46人の作家が滞在して作品を作った。

個展は午前11時～午後7時。入場無料。3日午後5時からオープニングパーティーがある。問い合わせは松崎代表（092・325・1773）へ。（鳥居達也）



フランス・デュボアさん

来月3～6日 個展